年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科　公民　科目 公共

教　科： 公民　　科　目： 公共　　単位数： 2 単位

対象年次： 2 年次

教科担当者： 小林　良守

使用教科書：（ 『高等学校公共』帝国書院 ）

教科　公民　の目標

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　公共　の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	青年期と社会参画 【知識・技能】自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解する。 【思考・判断・表現】社会に参画する自立した主体とは集団の中で他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・青年期 ・学ぶこと ・社会参画とキャリア	【知識・技能】自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】社会に参画する自立した主体とは集団の中で他者との協働により当事者として公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	宗教・思想・伝統文化と社会 【知識・技能】人間は個人として尊重される存在であり，対話を通して多様な立場を理解できる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の知恵を通して，多様な価値観を尊重できるようになることについて理解する。 【思考・判断・表現】対話や，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れることを通して，多様な価値観を尊重することについて多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・宗教 ・日本の思想 ・日本の伝統と文化	【知識・技能】人間は個人として尊重される存在であり，対話を通して多様な立場を理解できる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の知恵を通して，多様な価値観を尊重できるようになることについて理解している。 【思考・判断・表現】対話や，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れることを通して，多様な価値観を尊重することについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	4
	倫理的な見方・考え方 【知識・技能】選択・判断の手掛かりとして，幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 【思考・判断・表現】倫理的価値の判断において，幸福を重視する考え方と公正などの義務を重視する考え方などを活用して考察する活動を通して，人間としてのあり方生き方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・古代ギリシアの思想 ・古代中国の思想 ・近代西洋の思想 ・現代の思想	【知識・技能】選択・判断の手掛かりとして，幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】倫理的価値の判断において，幸福を重視する考え方と公正などの義務を重視する考え方などを活用して考察する活動を通して，人間としてのあり方生き方を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	4
	社会の基本原理と憲法の考え方 【知識・技能】人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考・判断・表現】公共的な空間における基本的原理について，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における基本的原理について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・近代立憲主義 ・日本国憲法 ・平等に生きる権利 ・自由に生きる権利 ・人間らしく生きる権利 ・広がる人権の考え方	【知識・技能】人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】公共的な空間における基本的原理について，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における基本的原理について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
2学期	法の意義と司法参加 【知識・技能】法や規範に基づき各人の意見や利害を調整することで，権利や自由が保障され，社会の秩序が維持されることを理解する。 【思考・判断・表現】自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について，その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・社会規範と法 ・契約の考え方 ・消費者の権利と責任 ・司法の役割 ・刑事裁判とその課題	【知識・技能】法や規範に基づき各人の意見や利害を調整することで，権利や自由が保障され，社会の秩序が維持されることを理解している。 【思考・判断・表現】自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について，その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	民主社会と政治参加 【知識・技能】よりよい社会は憲法の下で個人が議論に参加し，利害対立を調整して合意形成することによって築かれることを理解する。 【思考・判断・表現】自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・政治と権力 ・議院内閣制と国会 ・権力分立と行政の役割 ・地方自治の役割 ・政党政治とメディア ・選挙制度とその課題	【知識・技能】よりよい社会は憲法の下で個人が議論に参加し，利害対立を調整して合意形成することによって築かれることを理解している。 【思考・判断・表現】自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1

	市場経済のしくみ 【知識・技能】公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや政府の経済的な役割について理解する。 【思考・判断・表現】自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題の解決について、考察したことを，論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】市場経済の機能と限界，金融の働き，財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・市場のメリットと限界 ・企業の目的と役割 ・金融の役割 ・政府の役割と財政の機能 ・経済の変動	【知識・技能】公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや政府の経済的な役割について理解している。 【思考・判断・表現】自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題の解決について、考察したことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】市場経済の機能と限界，金融の働き，財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	8
	豊かな社会の実現 【知識・技能】職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考・判断・表現】自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】職業選択，雇用と労働問題，社会保障に関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・産業構造の変化と職業選択 ・中小企業と農業 ・労働者の権利と労働問題 ・社会保障の役割と意義	【知識・技能】職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思考・判断・表現】自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】職業選択，雇用と労働問題，社会保障に関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3学期	国際政治の動向と平和の追求 【知識・技能】国際政治に関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 【思考・判断・表現】自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わる。	・国家と国際法 ・平和主義と日本の安全保障 ・国際連合の役割 ・国際紛争 ・核兵器と軍縮の課題	【知識・技能】国際政治に関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考・判断・表現】自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	国際経済の動向と格差の是正 【知識・技能】経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 【思考・判断・表現】　自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】グローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる課題の解決を視野に主体的に社会に関わる。	・国際経済のしくみ ・地域経済統合、自由貿易協定 ・経済格差の是正	【知識・技能】経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考・判断・表現】　自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】グローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	持続可能な社会の実現に向けて 【知識・技能】これまでの学習を振り返りながら，社会へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだす。 【思考・判断・表現】これまでの学習を振り返りながら，資料に基づきながら課題解決に向けて考察し，論拠を基に自分の考えを説明，論述する。 【主体的に学習に取り組む態度】これまでの学習を振り返りながら，現代の諸課題を探究する活動に取り組み，公共の精神をもった自立した主体として社会に関わる。	・課題探究学習	【知識・技能】これまでの学習を振り返りながら，社会へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 【思考・判断・表現】これまでの学習を振り返りながら，資料に基づきながら課題解決に向けて考察し，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】これまでの学習を振り返りながら，現代の諸課題を探究する活動に取り組み，公共の精神をもった自立した主体として社会に関わろうとしている。		○	○	4 合計 70

年間授業計画　新様式

第三商業高等学校（定時制課程）　令和7年度　　教科　地理歴史　　科目　地理総合

教科：地理歴史科　　科目：地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3学年　1　組

教科担当者：小林　良守

使用教科書：高等学校 新地理総合（帝国書院）

教科　地理歴史科の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，　地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
4月	地理総合の目標および評価について理解する。	オリエンテーション	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			○	2
	現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差などについて理解する。	地球上の位置と私たちの生活 時差と私たちの生活		○			2
	日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現する。	地球儀と地図 身の回りの地図		○	○		2
5月	地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	地理情報システム(GIS)の活用			○	○	3
	現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。	現代世界の国家 日本の位置や領域		○			2
	現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。	国家間の結び付き 貿易によって結び付く世界			○		2
	定期考査			○	○		1
6月	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	大地形と人々の生活 変動帯と人々の生活		○		○	2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	安定地域と人々の生活 河川がつくる人々の生活		○		○	2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	海岸の地形と人々の生活 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活		○		○	2
	日本の地形と気候の特徴および地域差が生じる要因について理解する。	・日本の自然環境 日本の地形 日本の気候		○		○	
7月	定期考査			○	○		3
							1

9月	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	世界の植生と気候区分		○			2
	世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。	熱帯の生活 乾燥帯の生活			○		2
	世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。	乾燥帯の生活			○		2
	世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。	温帯の生活			○		2
10月	世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。	温帯の生活			○		2
	世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。	温帯の生活 亜寒帯・寒帯の生活			○		2
	世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。	気候全体のまとめ				○	2
	定期考査						1
	日本の地形と気候の特徴および地域差が生じる要因について理解する。	日本の自然環境 日本の地形		○			2
11月	日本の地形と気候の特徴および地域差が生じる要因について理解する。	日本の自然環境 日本の気候		○			2
	言語は，人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	1　世界の言語と人々の生活文化		○			2
	宗教は，人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	2　世界の宗教と人々の生活文化		○			2
	宗教は，人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	2　世界の宗教と人々の生活文化		○			2
	宗教は，人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	2　世界の宗教と人々の生活文化		○		○	2
12月	定期考査			○	○		2

1月							
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	経済成長による人々の生活の変化 ・東アジア ・東イジアの経済成長とその歩み		○			2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・東アジア ・東イジアの経済成長とその歩み		○			2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・東アジア ・経済成長に見る中国の生活補変化			○	○	3
2月	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・東アジア ・経済成長に見る韓国の生活補変化		○			2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・ヨーロッパ ・EU統合と人々の生活		○			3
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・ヨーロッパ ・EU統合による農業への影響		○			2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・ヨーロッパ ・EU統合による工業や社会への影響		○			2
3月	定期考査			○	○		1
							70

2025(令和7)年度　年間授業計画

教科名	理科	科目名	科学と人間生活	単位数	２単位
学年・類型	３学年	担当教員	横山秀行		
使用教科書・教材	高等学校　科学と人間生活　（第一学習社） 担当教員作成プリント				

教科　理科　の目標

観点	a ：知識・技能	b ：思考・判断・表現	c ：主体的に学習に取り組む態度
趣旨	2 年間の理科授業の中で、科学技術をテーマとして、理科の基礎的な学習を円滑に進めて、この内容を習得すること目標とする。	科学技術をテーマとして、科学的な思考・技能を簡素化し、身近な事象を用いて習得できるようにする。	生徒自身が実験・観察の操作・体験を通じて、生徒自身がワークシートに記入出来る様に指導行う。

科目　科学の人間生活　の目標

観点	a ：知識・技能	b ：思考・判断・表現	c ：主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然と人間生活との関わり及び、科学技術が人間生活に果たし来た役割について考える。	日常生活や身近な事象・現象に関する実験・観察などを通じて理解させる。また、それを利用して体得できるようにする。	科学的な見方・考え方、または科学技術への役割を養うとともに、興味・関心を高めていく。

2025(令和7)年度　年間授業計画

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	・科学技術の発展 ・人間生活の中の科学、光や熱の科学 （知）材料とその利用をテーマに特徴・成り立ち・分類・用途を学習する。 （思）具体的にプラスチック・金属・繊維それぞれの特徴・成り立ち・用途を考える。 （態）それぞれの材料はどのような所でどのように活用・利用されているかを把握する。	・科学技術の発展が今日の人間生活に対して、どのようにして貢献したかについて理解させる。 ・身近な自然の事象・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりついて認識を深めさせる。	○	○	○	・科学技術の発展を理解しているかどうか。 ・科学と人間生活との関わりを理解しているかどうか。 （知）材料を科学技術の歴史と発展を振り返って理解しているかどうか。 （思）科学技術の歴史を顧みて、現在、どのように使用されているかを知る。 （態）それぞれの材料を生産・使用・廃棄・再利用を生徒自身が考えて実践していく。	28
2	・物質の科学、生命の科学 ・宇宙や地球の科学 （知）中学理科分野で学習しているので、復習を兼ねて、光合成の学習をして、それをもとに発展的に考える。 （思）植物の生育や光に対する動物の行動を観ていく。 （態）光合成は生物にとって必要不可欠なもので、生物にとってなくてはならないことである事に気づかせる	・材料とその再利用、衣料と食品、生物と光、微生物とその利用 ・身近な天体と太陽系における地球、身近なしぜん景観と自然災害	○	○	○	・材料、衣料と食品、生物と光、微生物を理解しているかどうか。 ・身近な天体と太陽系における地球、身近な自然景観と自然災害を理解しているかどうか。 （知）中学で学習した内容を蘇っているかをテーマに学習する。 （思）中学の内容を利用して、植物の生育、動物の行動、人の視角を考えていく。 （態）太陽の光は、それ以外に動植物に、どのように影響を与えるか、さらに人間への影響について知る。	28
3	・これからの科学と人間生活 （知）1・2 学期の内容を踏まえて、新機能を備えたプラスチック・衣料の開発を考える。 （思）プラスチックの開発として高吸水樹脂・導電性樹脂など新素材について学ぶ （態）プラスチックは使い勝手の良い面、マイクロプラスチックのように生体内に悪影響があると言われているので、良い面悪い面、両方を知る	自然と人間生活との関わり、及び科学技術を人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活との関わり方について考察させる。	○	○	○	・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割を理解しているかどうか。 （知）プラスチックの歴史と発展を振り返って、理解しているかどうか。 （思）使い勝手の良いプラスチックは、無くてはならないと思うので、プラスチックの未来を予測する。 （態）プラスチックの便利さよりも、プラスチックを減らすことを目的とすることが多くなってきているのでプラスチックの量を考えていく。	14

評価方法	定期考査、ワークシートの提出、出席状況の三点で評価する。	配当時間合計	70

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

令和７年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校　定時制

担　当　者	横山　秀行

教　　科	理科	科　　目	生物基礎（２単位）
対　　象	第４学年		
教　科　書	東書　改訂　生物基礎		
副教材その他	理科資料集、ワークシート		
目　　標	科学と人間生活の内容をふまえて、さらに生物の内容を深めていく。		

学期	時間	単　　元	内　　容
1	14	生物の多様性と共通性	・多様な生物の共通点 ・生物の共通性としての細胞 ・プリント No.１~No.５
	14	生命活動とエネルギー	・エネルギーと代謝 ・代謝にかかわる酵素 ・生体内におけるエネルギー変換
2	14	生物と遺伝子	・DNA の構造 ・DNA の遺伝情報 ・細胞分裂と DNA の複製 ・プリント No.16~No.19
	14	遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝情報の流れ・転写・翻訳 ・遺伝子の発見と生命現象 ・プリント No.20~No.21
3	14	生物の体内環境の維持	・体内環境の特徴 ・心臓と血液循環 ・体内環境を調節する器官 ・プリント No.22~No.27

評価	（観点・基準） １．生物に対するかかわり方について考え、判断する能力を身につける。 ２．身近な生物の現象について関心や探究心をもたせる。 授業に対する取り組み、提出物（家庭学習を含む）、出席状況、テストなどにより、総合的に判断する。